

まちかどトピックス

おめでとうございます

県選奨

藤井 秀夫様
(茅刈)



藤井さんは、昭和40年より民生・児童委員として社会奉仕の精神をもって、地域住民の福祉向上に大きく貢献されています。

また、昭和52年からは保護士に就任。更生保護事業に率先して取り組まれており、この度これらの功績が認められたものです。

お慶びを申し上げますとともに、今後益々のご活躍をお祈りいたします。



お慶び申し上げます

叙勲

好本 悦夫様
(黄波戸)



秋の叙勲において、前日置町消防団長の好本悦夫氏が、勲六等単光旭日章の榮に浴されました。

氏は、47年余の永きに亘り消防に職を奉じられ、一貫して公共奉仕の精神に徹し、多大な偉功を残されました。

受章にあたり「今回の受章は、支えて下さった多くの皆さんのお陰です。」と、謙虚に語られています。

今後とも、氏の活躍を祈念するとともに、町民一同心からお慶び申し上げます。

物価啓発に係る工場見学に参加して

11月2日(木)、長門・大津地区消費者問題協議会の活動の一環として、福岡県北九州市のペットボトルリサイクル工場を見学(参加者数41名)されました。

これは、地域の消費者が、商品の製造工程や流通のしくみ等について学習するために実施されているもので、今年度は「ゴミの分別収集」をテーマに、家庭から分別・収集されたペットボトルがどのように処理され、再利用されているのか、また、分別する段階において注意しなければならないことなど、ゴミ問題についてより一層理解を深められました。

私達が見学した工場は、主に中国・四国地方からペットボトルが持ち込まれ、一日に70〜80万本が処理されているそうです。日頃、使用しているペットボトルが、途中人手による所もありますが、いくつもの工程を経て「フレーク」「ペレット」という原料に再生されます。ポリエステルになったものはワイシャツやエプロン、台所用洗剤ボトル等々色々なものに再生され、品物もたくさん見せて頂きました。

日置町でも分別収集が始まりましたが、リサイクルがスムーズにいく様、まず△のマークを確かめ、洗ってから出す習慣づけをしなくては、と再確認しました。ひとり一人の



(日置町 女性)